



鳥取県看護協会だより



こすもす

第190号

2025年1月発行

会員数 4,201名

保健師 100名

助産師 207名

看護師 3,856名

准看護師 38名

(令和7年1月6日現在)

公益社団法人鳥取県看護協会

〒680-0901鳥取市江津318-1 TEL 0857-29-8100 FAX 0857-29-8102

E-mail: kango@tottori-kangokyokai.or.jp 【発行責任者】松本美智子

鳥取県看護協会

検索

<https://www.tottori-kangokyokai.or.jp/>



ホームページ新着に
「こすもす190号」を
2月末掲載します！



社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院



CONTENTS

- 松本会長 新年のご挨拶 P 2
- 令和7年度鳥取県看護協会役員並びに令和8年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員の立候補について／瑞宝単光章受賞／県に要望書提出 P 3
- 令和6年度地域包括ケアシステム推進研修会／令和6年度災害支援ナース養成研修会報告 P 4
- 第18回鳥取県看護研究学会開催報告／社会経済福祉委員会企画「スポットチェックモニターの導入による看護業務改善への取り組み」 P 5
- 地域と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築／スペシャリストにきく P 6

- 施設紹介 渡辺病院 P 7
- 認定看護管理者教育課程R5年度受講者 フォローアップ研修会に参加して／令和7年度認定看護管理者教育課程 ファーストレベル セカンドレベル受講者募集 P 8
- 各地区活動委員会看護職交流会開催報告／理事会報告 P 9
- 輝き続ける プラチナナース／プラチナナース交流会開催報告 P 10
- 鳥取県ナースセンター便り P 11
- 入会金・運営事業費の変更 P 12

念校

新年のご挨拶



公益社団法人鳥取県看護協会
会長 松本 美智子



令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
また、会員の皆さまには、日頃より鳥取県看護協会の事業にご理解とご支援をいただきまして、深く感謝申し上げます。

昨年は、能登半島地震、日本航空機と海上保安庁機との衝突事故という大惨事が発生した幕開けとなり、その後もさまざまな災害が相次ぎ、今なお復旧・復興に向けて取り組んでおられる被災地の皆さまには、お悔やみ申し上げますとともに、一日でも早く平穏な日々に戻れることを祈念いたします。今後も新興感染症の危機、震災や気候変動に伴う気象災害が予測される中、健康危機管理体制の整備を推進する必要性を改めて感じているところです。

さて、令和7年の干支は「乙巳」（きのとみ）で、これからの成長をさらに育てていく年であり、変化や挑戦、新しい可能性が広がる年ようです。2025年を目途に推進されてきたさまざまな制度改革も一つの到達年を迎え、次なる社会課題となる2040年を見据えて、新たなステップに取り組んでいく年であり、まさに令和7年の干支のもつ意味とも合致いたします。

日本看護協会が2015年に公表した「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン」についても、今年はその評価が行われ、2040年を見据えた新たな「看護の将来ビジョン」が6月の通常総会において公表される予定です。さらには、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想についての議論も進んでおり、看護を取り巻く状況は、めまぐるしく変化し、看護職に求められる役割や活動の場はどんどん拡大しております。求められるニーズに適切に応えるためには、看護の質の確保と量的な確保が必要です。

ただ、少子化の影響による労働力不足は、全産業においても同様であり、若い世代へ向けていかに看護の魅力を発信して、看護職への就業・定着・離職防止を図っていくかが重要なポイントになります。看護職が働き続けられるために多様で柔軟な働き方の推進、医療DXの推進、業務の効率化、タスク・シフト／シェアの推進、プラチナナースの活用促進、処遇改善の実現、ナースセンター機能の強化などさまざまな取り組みの推進が求められます。鳥取県看護協会では、これらの対策に向けて、関係機関と連携を図りながら、看護職の確保・定着・離職防止に努めていきます。

また、令和5年に日本看護協会が「生涯学習ガイドライン」を公表しましたが、鳥取県看護協会では、令和7年度の教育計画にこのガイドラインを反映させていきます。さらに、日本看護協会では、資格認定3制度（認定看護師、専門看護師、認定看護管理者）の個人審査の変更が行われ、看護管理者の養成に向けた教育の見直しや、認定看護師の戦略的な養成の検討中であり、より専門性の高い看護職の養成に向けての取り組みもされております。鳥取県看護協会でも看護の質の向上に向けて、これらの取り組みを推進するとともに、特定行為研修の推進に向けても引き続き取り組んでいきます。

鳥取県看護協会が、職能団体としての役割を維持・継続するためには会員一人一人の力を欠くことはできません。看護職としての専門性が発揮できるよう、現場の声を聴きながら、看護協会の役割を一つ一つ果たしていきたいと思っておりますので、引き続き会員の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。会員の皆さまのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和7年1月

令和7年度 鳥取県看護協会役員並びに 令和8年度 日本看護協会総会代議員及び予備代議員の立候補について

「令和7年度鳥取県看護協会役員」、並びに「令和8年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員」は、令和7年6月に開催する〈鳥取県看護協会 通常総会〉において選出されます。

このことについて立候補の受付を行いますので、届出される方は以下の要領を参照のうえ、手続きを行ってください。

■ 令和7年度 鳥取県看護協会 役員（9名）

会長理事	1名	職能理事	1名（保健師：1名）
副会長理事	1名	地区理事	3名（東部地区1名／中部地区1名／西部地区1名）
常任理事	1名	全区理事	1名
		監事	1名

■ 令和8年度 日本看護協会 総会代議員（5名）

保健師	1名	看護師	2名
助産師	1名	准看護師	1名

■ 令和8年度 日本看護協会 総会予備代議員（8名）

保健師	2名	看護師	2名
助産師	2名	准看護師	2名

当協会ホームページ「新着情報」の立候補受付関係ページから、ダウンロードにより入手が可能です。入手ができない場合は、鳥取県看護協会事務局へご連絡ください。

届出先 〒680-0901 鳥取市江津318-1
公益社団法人鳥取県看護協会
選挙管理委員長 宛

締切日 令和7年3月21日（金）
（当日消印有効）

令和6年度 秋の叙勲（内閣府発表） 秋の瑞宝単光章 受賞

おめでとうございます！

博田 章代 様（医療法人養和会 法人本部）

長年にわたり看護職としての素晴らしいご功績が認められ、この度の受賞となりました。
敬意を表しますとともに、お慶び申し上げます。

鳥取県に要望書を提出しました

令和6年10月15日（火）、令和7年度当初予算編成・政策策定に関する鳥取県知事宛要望書を中西福祉保健部長へ提出しました。

▼要望内容は以下のとおりです。

- 1 看護職員の働き方改革・看護業務の効率化を推進するための医療DX推進への支援
- 2 看護職員の処遇改善
- 3 看護職員等の確保・定着
- 4 訪問看護人材の確保・定着
- 5 新型コロナウイルス感染症並びに熱中症対策への支援
- 6 助産師出向支援事業の拡充
- 7 がんとの共生社会の実現
- 8 保健所の健康危機管理体制の充実・強化



中西福祉保健部長に要望書を手渡す松本会長

令和6年度 地域包括ケアシステム推進研修会

開催日時 令和6年12月14日(土) 13:00~16:00
開催方法 ハイブリッド開催(主会場:鳥取県看護研修センター)
参加者 看護職及び看護学生 99名(集合62名、Zoom37名)
目的 全世代の人々の健康と生活を守るために、看護職員一人ひとりが主体的に役割を発揮することができるよう、看護職間連携のより一層の推進を目指す。

地域へつなぐ看護



特別講演

テーマ「全世代型地域包括ケアシステムを推進するために ～看護職の職能間連携の目指す姿～」

講師 公益社団法人日本看護協会 副会長 勝又 浜子 氏



実践報告

テーマ「地域へつなぐ看護～まずは看看連携を深化させてみませんか～」

1 保健師職能と助産師職能との連携事例 「養育困難家庭への包括的支援」

～多職種連携によるエンパワーメントアプローチ～
境港市健康づくり推進課 主査 田中 美津枝 氏

～産後ケア事業における養育力を高める関わり～
西江助産院 助産師 西江 順子 氏

2 看護師職能Iと看護師職能IIとの連携事例 「在宅看取りを希望する家族への支援」

～レスパイト入院中の家族ケアを振り返る～
県立厚生病院 看護師 松原 翔 氏

～「在宅看取りという選択」民間救急としての役割～
くらし民間救急ぬのこ 代表 上野 泰葉 氏



感想 (アンケートより抜粋)

- 講演では、日本の医療の展望や看護職のこれからの在り方など、普段は何となくしか考えていなかったことを知ることができ、本当に有意義でした。実践報告では、共感と賞賛を感じ、日々の仕事をする上で、非常に影響される内容でした。連携の大切さを改めて感じました。
- 今後の看護に活かせる研修内容でした。まさに今多様化している在宅療養困難者の支援についての生の声や介護疲弊に対する対応など、勉強になりました。
- 授業や実習など学校では取り扱っていないことや、データに基づき鳥取県の医療が今どのような状況なのかを知ることができました。顔を見て関係をはじめるということがとても印象に残ったので、大切にしていきたいです。(看護学生)



コメント

昨年に続き、「地域包括ケアシステム推進研修会」として3職能合同研修会として開催しました。特別講演では、全世代型地域包括ケアシステムにおいて、あらゆる場で活躍する看護職は多職種・多機関の連携調整・マネジメントのキーパーソンであり、看護職の連携強化は不可欠！との力強いメッセージをいただきました。また、実践報告では、各職能領域から看看連携の好事例を報告していただき、保健医療福祉サービスの提供体制や職能間連携の推進の必要性等について理解を深める有意義な研修会となりました。

令和6年度 災害支援ナース養成研修会報告

修了者: 41名 (東部14名 中部14名 西部13名)

研修日時

オンデマンド研修 (20時間) 令和6年7月16日(火)～9月6日(金)
集合研修 【災害演習】 令和6年9月21日(土) 10:00～17:00
【感染症演習】 令和6年10月27日(日) 10:00～16:10

講師

【災害演習】 鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課 参事 谷口 和子氏
鳥取市立病院 副看護部長 中瀬 善雄氏
鳥取市立病院 救急看護認定看護師 桑村 香織氏
【感染症演習】 鳥取大学医学部附属病院 感染管理認定看護師 中村 広大氏
鳥取大学医学部附属病院 クリティカルケア認定看護師 吉野 早苗氏



感染症演習の様子

災害支援ナースは、活動実績が評価され、令和6年4月1日から改正医療法・改正感染症法の改正により、派遣するしくみが法制化されました。

これに伴い、令和5年度から新しいプログラムによる養成研修を開始しています。

令和7年度も災害支援ナース養成研修会を開催します。あなたも「災害支援ナース」を目指してみませんか？

参加者感想

- 学びたい内容であり、かつて諦めかけた災害看護を今後も定期的に真剣に学んでいきたいと感じました。
- COVID19の経験から、PPEの着脱の機会があったが、手袋の外し方、手指消毒の正確性を再確認できました。
- 他人の意見も尊重しつつ、自分の意見も伝える事もチームで動く活動をするうえで必要だと改めて感じました。

地域と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築

第3回 ～地域を支える訪問看護ステーション事業～

医療法人真誠会 訪問看護ステーションネットケア 角田 直子

私は、地域から信頼される訪問看護が提供できるよう、利用者様一人ひとりと丁寧に向き合い、出来る限り利用者様のニーズに応じた柔軟な対応を心掛けています。訪問看護師になるまでは、地域で生活する環境や、訪問系のサービスについての知識も低く、日々発見や驚きの毎日でした。訪問看護の魅力は、利用者様との深いつながりが持て、個別化したケアの提供が行え、なにより利用者様の笑顔がたくさん見られることです。病院から退院され、地域で療養を続けていくことに、不安を抱えておられるケースが多くあります。スムーズに在宅へ移行できるよう利用者様の意思を尊重しながら、多職種で関り、質の高い連携を行うことが求められます。そのためには、訪問看護師が中心となって在宅での生活を見据え、連携を図っていく必要があります。利用者様の「自宅で生活したい」「大切にしている思い」に寄り添い、多職種で連携し、質の高い看護が提供できるよう今後も邁進していきたいと思っています。



スペシャリストにきく

～精神科認定看護師の取り組み～

南部町国民健康保険 西伯病院 精神科認定看護師 高田 久美

今から約25年前、一般科病棟から精神科病棟に配属され長期入院者の多さに驚きました。一人の患者さんの退院支援をきっかけに「一人でも多くの患者さんの暮らしを実現したい」と思い、精神科認定看護師を目指しました。平成17年に資格を取得してからは、精神障がい者の地域移行支援を得意分野として取り組んでいます。平成19年からは、病棟での経験を活かし、地域連携室の看護師として院内外の多職種多機関協働の退院支援体制を確立するとともに、精神科訪問看護の推進にも力を入れてきました。精神障がい者の暮らしの実現には、病院だけでなく、地域全体で取り組む必要があります。私は、その仕組みづくりに貢献することも精神科認定看護師の役割の一つだと思い、長年、国や県の事業にも参画したり、施策の動向を把握しながら、看護師に求められていることや、できることを考え活動しています。今後も、自院に留まらず、我が地域、我が県に貢献したいと思っています。



コンサルテーションの場面



地域移行・地域定着に係る関係機関協議（コア会議）の風景



訪問看護スタッフ

「自分らしく生きるためのお手伝い」



シルバーデイケアの様子

「今日も利用者さんを笑顔にしたい」

施設紹介

社会医療法人明和会 渡辺病院 医療福祉センター

住所／〒680-0011 鳥取市東町3-307 TEL／0857-24-1151

濱本看護部長



渡辺病院は県東部地区で「こころの医療」を担当する病院です。1953年に創立され、今年72周年を迎えました。緑豊かな久松山のふもとにあり、近くの鳥取城址や仁風閣は、春には桜、夏には深緑、秋には紅葉など、四季のうつろいが美しく、ゆったり散歩される患者さんもおられます。

ストレスの多い現代社会においてメンタルヘルスへの関心が高まっていますが、当院では急性期および慢性期の精神科医療、依存症・認知症・思春期・発達障害などの専門医療を提供するほか、訪問看護やデイケアで在宅療養を支えています。

こころに怪我をして辛いとき優しく話をきいてほしい。認知症になった時も大丈夫だよとそばにいてほしい。誰もがそう思うことでしょう。副作用の少ない薬、持続性の注射剤など新しい薬も次々開発され、精神科医療も日々進化していますが、人と人との温かい交流がなくてはこころの回復はできません。安心して過ごせる空間を提供し、信頼できる人間関係を構築することそのものが精神科看護であると思っています。

私たちはこころのケアを必要とするすべての人々が自信と笑顔を取り戻し、自分らしく暮らせる地域社会づくりを目指しています。

施設の概要 (R6.4.1時点)

病 床 数：282床	精神科救急急性期医療病棟54床
	精神科療養病棟144床
	認知症治療病棟60床
	療養病棟24床
	介護医療院26床 (併設)
	外来 訪問看護ステーション
	精神科デイケア 認知症デイケア
看護職員数：153名	
看護体制：精神科救急	10：1
	精神療養病棟 15：1
	認知症病棟 20：1
	療養病棟 20：1
看護方式：モジュール	



アルコール依存症治療プログラム
〈学習&交流ミーティング〉スタッフ
「学びあい 支えあう」

クリスマス文化祭



「思ったより難しい」



「景品をどうぞ」「ありがとう」



「笑顔がいっぱい」

認定看護管理者教育課程セカンドレベル令和5年度受講者 フォローアップ研修会に参加して

国民健康保険智頭病院 副看護部長 徳永 忍

1年ぶりに24名が集結し、認定看護管理者教育課程セカンドレベル令和5年度受講者フォローアップ研修会が開催されました。緊張とともに、仲間と再会できる喜びで当日を迎えました。

管理の視点で自施設の現状を分析し、課題を明らかにしたうえで、セカンドレベル研修での学びをもとに、その課題と向き合いました。業務改善・人材育成・退院支援など、受講者それぞれが実践したさまざまな取り組みについて報告しました。施設の規模や果たすべき役割、そしてそれぞれの立場は違っていても、抱えている課題は共通することが多く、昨年得た学びを再確認し、さらに学びを深める機会となりました。

自施設の役割・理念をしっかりと胸に刻み、あるべき姿を目指して歩んでいかなければなりません。また、今回築いた受講者とのネットワークは大きな財産です。組織のみならず地域の看護管理者として力を発揮するため、一層連携を深め、お互い高め合っていきたいと思います。

最後に、セカンドレベル研修でお世話になったすべての方々に感謝申し上げます。



令和6年12月6日・フォローアップ研修会当日の様子

令和7年度認定看護管理者教育課程 ファーストレベル セカンドレベル 受講者募集



ファーストレベル (定員80名)

看護専門職として管理的な視点に関する基本的な知識・技術・態度について習得します

募集期間

令和7年2月1日(土)～令和7年2月17日(月)
(当日消印有効)

開催期間 (予定)

令和7年5月9日(金)～令和7年7月25日(金)

セカンドレベル (定員30名)

それぞれの立場での、看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得し、課題解決にむけた実践に繋がります

募集期間

令和7年4月1日(火)～令和7年4月15日(火)
(当日消印有効)

開催期間 (予定)

令和7年8月1日(金)～令和7年12月12日(金)

多くの皆様の参加をお待ちしています

詳細はホームページまたは各施設へお送りしている募集要項をご覧ください



◀募集要項はこちら

各地区活動委員会看護職 交流会 開催報告

東部

明日からできるアロマハンドマッサージ～触れるケアで自分にも周りにも癒しの贈り物～

東部地区活動委員長 日裏 安代（せいきょう訪問看護ステーションすずらん）

開催日▶12月7日（土） 参加者▶21名

がん経験者のためのアロマサロンmellowを主宰される宇田川美嘉氏を講師に交流会を開催しました。香りやタッチングの科学的根拠や安全に施術を行うための注意点のお話と、実際に施術の指導を受けながらハンドマッサージの練習を行いました。触れるケアによって、オキシトシンが分泌され、不安の軽減や痛みの緩和の効果があるそうです。オキシトシンはケアされる側だけでなく、ケアを行う側にも分泌されるそうで、お互いが癒されました。コロナによる活動制限で困難だった時期がありましたが、人とのつながりやふれあいの大切さを実感しました。

グループ交流会でも職場を越えた活発な意見交換が行われ、「とても癒された」「今後のケアに活かしたい」「勤務先は違っても看護への気持ちは一緒に心強く感じた」などの感想が寄せられ、有意義な交流会となりました。



中部

大切な食事、でも頑張りすぎない食事づくり～健康で楽しく働きつづけるために～

中部地区活動委員長 松村 志保（北岡病院）

開催日▶12月7日（土） 参加者▶18名

三朝町役場管理栄養士の岩山美由紀さんを講師に迎え、食育の大切さや中年期からの健康づくりなど私たちに必要不可欠な食事について、また、災害支援にも携わっておられることから、災害時にも役立つ食の備えやポリ袋を使用した簡単な調理方法について、実践を交えて教えていただきました。先生自身の活動や経験を踏まえた楽しいお話の中から、頑張りすぎない食事作りのヒントを沢山もらうことができました。

講義の後でグループワークを実施。困っていることや希望する支援などをテーマに、経験年数や施設の異なる看護職同士で日頃感じていることを話し合える良い機会になったようです。普段なかなか聞くことの出来ない生の声が聞くことの出来た有意義な交流会でした。



西部

「フレイル」知っていますか？ 西部地区の活動を知り高齢者看護に活かす！

西部地区活動委員長 周藤 美紀子（米子医療センター）

開催日▶11月23日（土） 参加者▶17名

「鳥取県西部圏域でのフレイル予防についての取り組みを共有すること、地域の高齢者医療や自施設の課題を共有し地域住民に切れ目のない看護の提供ができるように西部地区の高齢者看護に係る看護職の交流を深めること」を目的に、米子市フレイル対策推進課の古磯暢氏、作業療法士の小椋善文氏を講師に迎え交流会を開催しました。参加者は、自身のフレイルチェックをしたり、体操をしたりと体をほぐしながら講義をうけました。

グループワークでは自施設の取り組みを共有したり、こんな高齢者になりたい等の話し合いがされ、活発な意見交換の場とすることができました。来年度も皆さんの期待に沿える交流会の企画をしていきたいと思います。



理事会報告

第7回 令和6年12月6日（金）13:00～16:30

場所 鳥取県看護研修センター・ZOOM

【協議事項】

協議1. 基本方針・政策

1-1 令和7年度重点政策・重点事業（案）について

協議2. 事業推進に関する事項

2-1 令和6年度（4月～9月）監査報告

協議3. 管理的事項

3-1 鳥取県看護協会研修受講料の改正について

3-2 鳥取県看護協会米子事務所の閉所について

3-3 各種推薦について

1) 日本看護協会会長表彰

2) 日本看護協会名誉会員推薦

協議4. 人事関係

今回はなし

協議5. その他

今回はなし

【報告事項】

報告1. 基本方針・政策

今回はなし

報告2. 事業推進に関する事項

2-1 令和6年度日本看護協会第5回理事会・第3回法人会会員

2-2 事業報告

1) 常務理事会報告

2) 執務執行理事報告（今回はなし）

3) 各委員会報告

4) 令和6年度鳥取県看護協会決算見込みについて

5) 鳥取県看護協会経費削減計画について

6) 重点事業の実施状況と評価について

7) 教育計画の方針及び枠組みの見直しについて

8) 鳥取県医師会への訪問看護指示書交付に係る医療機関の負担の周知について

9) 「訪問看護ステーション」と「ナーシングデイこすす」の一体的人員配置について

10) 各事業報告

(1) 令和6年度プラチナナース交流会の開催について

(2) 第18回鳥取県看護研究学会の開催について

(3) 鳥取県看護職員実習指導者養成講習会（特定分野）について

(4) 外来における看護職員の在宅療養支援能力向上のための研修会について

(5) 令和6年度鳥取県医療的ケア児等コーディネーター養成研修について

(6) ナーシングデイこすす机上避難訓練について

(7) 令和6年度災害支援ナース養成研修会について

2-3 会議報告

1) 2024年度中国・四国地区法人会会員・法人会連絡会・職能委員長会

2) 2024年度都道府県看護協会広報担当役員会議報告

3) 2024年度都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議

4) 2024年度第3回ナースセンター事業担当者情報交換会

5) 中国四国地区看護協会教育担当者情報交換会

6) 公益法人制度改正に伴う勉強会について

2-4 その他

1) 令和7年度当初予算編成・政策策定に関する要望書の提出について

報告3. 管理的事項

3-1 令和6年度入会員の報告

3-2 令和6年度前期（4月から9月）長期療養者報告について

3-3 理事の改選について

報告4. 人事関係

今回はなし

報告5. 書面報告

5-1 令和6年度第6回理事会議事録

報告6. その他

Keep Shining 輝き続ける プラチナナース

社会福祉法人こうほうえん
特別養護老人ホーム
新しいなば幸朋苑
森尾 みづほ



急性期病院を定年退職後、現在の介護施設に就職しました。初めは病院との違いに戸惑い、介護施設の看護師として何をしたらいいのかわからず同僚や介護士の方に頼りっぱなしでした。病院ではない、生活の場である。今までの経験を生かしてここで入居者の生活を支えていくようにと上司に言われ現在も頑張っています。現在は、地域密着型特定施設入居者生活介護で入居者の健康管理を行っています。体調確認、かかりつけ医の往診の対応、内服薬管理、食事介助や見守り、創処置、体調不良者の点滴管理等です。個人を支えるためには、その人の性格・考え方・今までの経験や価値観などを尊重して看護していくことを今まで十分に学んできましたが、そのことを痛切に感じています。またご家族も入居者の方と同じく一緒に支えていかなければいけないと感じています。

これからも入居者を中心に、ご家族と他職種で支えQOLやADLの向上をサポートしていきたいと思います。

★ プラチナナース交流会 ★ を開催しました

人生100年時代といわれるこれからの看護職の働き方は、退職後も看護職としてのキャリアや豊富な経験を活かして社会に貢献できることが大切です。

退職を控えた看護職、また退職後の看護職が、それぞれのライフスタイルに合わせて引き続き活躍していただくために「プラチナナース交流会」を開催しました。

令和6年12月1日(日)

※東部をメイン会場として、中部と西部の会場をZOOMでつなぎ開催
参加者44名
(就業中の方：32名 未就業の方：12名)

第1部

◆講 演：テーマ
「看護職の人生設計、ライフプランを考える」
～退職前後に知って得する年金の話～
社会保険労務士法人MOYORINO 代表 三ツ國 全代 氏

第2部

◆実践報告：テーマ
「キャリアを活かしたセカンドライフ」
～地域で活躍するプラチナナース～
保健師 長谷川 理 恵 氏
助産師 加持谷 多栄子 氏
看護師 幾 田 扶美子 氏

◆交 流 会：テーマ
「資格を活かして取り組んでいること 今後、取り組もうと思うこと等」

参加者の声

- 年金に関することは難しいと思っていたがわかりやすく説明してくださり参考になった
- 知っておかなければいけないことばかりで詳しく聞くことができて良かった
- プラチナナースの具体的な活躍内容が聞いて励みになった
- 今後、自分がどう生き、働いて行きたいかを問われた時間だった



プラチナナース実践報告



東部会場：交流会の様子



『鳥取県ナースセンター』は
厚生労働大臣の許可を受けた看護職のための**無料職業紹介所**です。

看護職の仕事の悩み相談に対応しています

なかなか業務が
覚えられない…。



看護師に向いてない
かも知れない。

職場に話を聞いて
もらえる人がいない。

ひとりで悩んでいませんか？

キャリアコンサルタントの資格を持った看護師が相談対応します。
※守秘義務は厳守いたします

Information

就業相談をしています！

相談時間：平日9：00～17：00
相談場所：鳥取県ナースセンター内
(鳥取市江津318-1)

-来所が難しい方はWebでの相談も可能です-

ご相談は看護協会の
会員・非会員を問いません



Web相談お申込

主な相談内容

- お仕事の悩み
- 看護職の就職、転職に関する相談
- 看護職を募集する施設の求人相談
- 進路やキャリアアップに関する相談
- ナースセンター登録に関すること

看護補助者の無料職業紹介をしています

鳥取県ナースセンター
ではハローワークと連携
し、病院等で働く医療チ
ームの一員としての看護補
助者の就業支援をしてい
ます。

※詳細はホームページを
ご覧ください



資格不要！

NEW ハローワーク米子での相談が予約制になります！

米子ハローワークでの移動相談が、令和7年度より**事前予約制**となります。

事前に鳥取県ナースセンターにお電話にてご予約下さい。
(TEL：0800-222-1232)

※ハローワーク倉吉での移動相談の予約先はハローワーク倉吉
(TEL：0858-23-8609) となりますのでご注意ください。

NEW NuPS (ナップス) の運用開始が2025年秋頃になります！

- キャリアに関する情報を管理・活用できます
- 研修履歴や経歴を蓄積することで、転職・復職時だけでなく、スキルアップに役立ちます
- 再就業などの相談にも活用できます



協会からのお知らせ

鳥取県看護協会 入会金・運営事業費の金額・支払方法が変わります

2025年度入会から
入会金・運営事業費の金額・支払方法が変わり
入会しやすくなります
会員でない方にお知らせください



Q

どう変わるの？



A

入会金と運営事業費を合わせて**5回の分割払い**ができるようになります。(一括払いもできます。)

	入会金	運営事業費				
2025年度以降入会 支払方法（分割の場合）	10,000円	40,000円				
	1年目 10,000円	2年目 10,000円	3年目 10,000円	4年目 10,000円	5年目 10,000円	
2024年度以前入会 支払方法（分割の場合）	25,000円	25,000円				
	1年目 25,000円	2年目 25,000円				

※別途、年会費は毎年15,000円です。(年会費の内訳：日本看護協会年会費5,000円 鳥取県看護協会年会費10,000円)



Q

運営事業費って？



A

運営事業費は、看護協会の研修等の機器整備や会館の修繕費、建替のための積立金等に使っています。

詳細は、チラシでお知らせします。

2025年度 会費のお知らせについて

継続会員で口座振替の方の引き落とし日は、
2025年**2月27日（木）**となります
ご確認をお願いします

会員特典

令和6年度の研修を3回以上受講された会員の方に
クオカード（1,000円）をプレゼント！

*研修NO.に★がついている研修が対象です。
該当（3回以上受講）の方は、
看護協会 教育部までお電話ください。

申込期限：令和7年2月21日
発送：令和7年3月上旬予定



新刊図書



新人・後輩の
アセスメント力を
育む指導

編著 阿部 幸恵
日本看護協会出版会 発行



看護と研究
根拠に基づいた実践

編集者 西垣 昌和
発行者 小立 健太
(株)南江堂 発行

編集後記



あけましておめでとうございます。
年度末に「鳥取県看護協会のファンを増やす～魅力ある広報活動～」について米子の「にぎやかし先生」からご講演いただきました。納得できる話ばかりで心動かされる講演でした！
今年は機関誌「こすもす」もイメージチェンジします！！ぜひご期待ください（*^_^*）
（広報委員 谷本）

念校